



「虔(つつしみ)賢(かしこく)健(すこやかに)・459」

編集 主幹教諭 池邊 頼人

学校教育目標

「ふるさと・人・命」を大切にし、夢や目標に向かい粘り強く努力する児童の育成

「令和2年 2学期を振り返って」～コロナ禍の中での学校生活～

水俣第一小学校長 光山 忠

あいふれた日常の風景に感動！

師走に入り、最近是一段と冬らしい寒さを感じようになりました。「今日も寒いですね。」という朝の会話から始まることが多くなりました。

さて、子供たちはというと、始業前の小運動場では、ランドセルもそこそこにサッカーや鬼ごっこに興ずる低学年の子供たちの姿がたくさん見られます。鬼ごっこでは、逃げ場を失い、勢い余って校門のところまで逃げてくる子供もいます。元気のエネルギーをたくさんもらうとともに、ケガをしないようにとハラハラする場面でもあります。大運動場に目を移すと、サッカーボールを懸命に追いかける高学年の子供たちがいます。さすがにボールをける勢いは強く、「もう一緒にしないほうが身のためだなあ。」と思わずにはられません。

最近の昼休みには、小運動場、大運動場ともに元気に体を動かす子供たちの数が増えているようです。活発に走り回る子供たちの姿を見るのはいいものです。一方、室内では、教室から音楽が聞こえたり、楽しく会話をする声が聞こえたりしています。委員会や係活動を頑張っている子供たちの姿も見られます。

こうして書くと、ごくあいふれた学校の風景、子供たちの様子ではありますが、実は、これが有り難いことであることを学んだ一年であったと思います。

本校の子供たちも、「当たり前に行えることのすばらしさ」「今できることに精一杯取り組むことの大切さ」を感じているように思います。子供たちが大人になっても「令和2年は制約や新しい生活ルールが多かったけど、あの時の経験が今に生きている。」と話せるように、子供たちを取り巻くすべての人の協力をいただきながら、今後もよりよい水俣一小を創り上げたいと思っています。

「人権」を大切に！！

1948(昭和23)年12月10日、パリで行われた第3回国連総会で「世界人権宣言」が採択されました。この宣言は「すべての人間は生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。」ではじまる全30条と前文からなっています。12月10日を世界人権デーとし、日本ではこの日までの一週間(12月4日～10日)を「人権週間」としています。

そこで、12月5日(土)の全校集会の中で、「人権」について話をしました。

主な内容は、

- 人権とは「人として生きる権利のこと」であり、人権は、「私たちが幸せに生きるための権利」である。
- ◎人権を大切にすることは、「自分のことを大切にすることと同じように他人、人を大切にすることである」
- ◎学級の人権宣言は覚えているか？是非、自分たちで作った学級の人権宣言が守られているか、振り返ってほしい。
- ◎「授業に集中すること」は、自分のことを大切にするとともに、友達のことを大切にしていることにつながると思う。つまり、人権を大切にしていることになると思う。一小の子供たち全員が人権を大切にできる人であってほしい。

私たちは簡単に「人権を大切にしよう」といってしまいますが、本当はそう簡単なことではないと思います。だからこそ、常に日常生活の中で意識し合い、授業・研修等で互いに学び合うことが大切であると思います。人権週間を機会に、子供の人権、女性の人権、高齢者の人権、障がい者の人権等、学び考えていきたいものです。

水俣一小のリーダーと「夢トーク」

6年生79人と「夢トーク」を行い、子供たち一人一人と夢や目標、中学校生活等について話し合う機会を持つことができました。

○ねらい：キャリア・パスポートや将来の夢、中学校生活等について語り合い、その夢の実現に向けた一人一人の思いを共有する。

○方法：昼休みに校長室での面談
児童一人と校長の1対1の面談

○期間：11月24日～12月18日(14日間)

1組と2組それぞれ7日間ずつの「夢トーク」でし

た。減多に入ることのない校長室ですので、トークの初めには緊張感あふれる表情を漂わせていましたが、最後には笑顔に変わることができました。短くも充実した大変楽しい時間を持つことができました。子供たちに感謝です。特に感心したのは、多くの子供が自分の「夢」を持っていることでした。「家族がその仕事していたから」「一小祭りで経験したから」等、身近な人、体験をきっかけに「夢」を持つようになったと語った子供たちも多かったです。

是非、その夢が叶うよう、また、夢が明確でない人も明確になるようこれからもたくさんの経験と学びを重ねていってほしいと思います。



新しい生活様式の中でも！



4年：社会科見学

11月13日（金）、山都町方面へ社会科見学旅行に行ってきました。石匠館では、石橋の作り方や歴史について話を聞き、疑問に思っていたことを質問したり、石橋作りを体験したりして意欲的に学びました。通潤橋では、放水が始まるのを今か今かと待ち、水が出ると大きな歓声に包まれ、大量の水しぶきに「迫力がある！」と驚いていました。また、「こんなに大きな橋を作るなんて、布田保之助さんや石工はすごい」という声もありました。実際に現地へ行って、自分の目で確かめることで学びが深まりました。天気にも恵まれ、思い出に残るものとなりました。



1年：新1年生体験入学

11月11日（水）～20日（金）の期間に新1年生が体験入学に来ました。教室で小学校の紹介を行い、生活科で作ったどんぐりごまをプレゼントしました。子供たちは、お兄さんお姉さんらしい堂々とした様子で発表したり、やさしく質問に答えたりしていました。入学してくるのを楽しみにしています。



2年：生活科「町探検」

11月14日（土）、生活科の授業「もっと行きたいな、町たんけん」で7班に分かれてお店や市立図書館、子どもセンターなどへ行きました。訪問先で話を聞いたり質問したりし、地域の方と交流したことで「今度また行ってみたいです。」という感想が多く、地域の方への愛着がより湧いたようです。



3年：大豆の収穫

11月27日（金）、7月に種まきをした大豆の収穫を行いました。毛虫やイノシシの出現で収穫が心配されましたが、ネットを張るなど対策を講じながら毎日の水やりや草取りを頑張り、予想以上の収穫量でした。今後、取れた大豆をどのようにして食べるか考えていきます。



お世話になります

12月7日（月）からスクール・サポート・スタッフとしてお世話になっております宮島美由紀です。

先生方の事務補助業務、新型コロナウイルス感染症対策のための校内の消毒を行います。よろしくお祈りいたします。



図書室貸出冊数 36,726 冊（全学年）
一人平均80冊の本に親しみ、豊かな心を育てています。

教育広報誌「ばとん・ぱす」

熊本県教育委員会から、教育広報誌の最新号「ばとん・ぱす vol.54」が発行されています。QRコードはこちらから→

